施設と提携、社会貢献ビジネス

ソーケン

間伐材使った小物等

電子商取引サイト開設

有吉社長に聞く

今回は少しガラス業界から離れてちょっと違う角度の話題から…。オフィス空間をプロデュースする㈱ソーケン（本社＝東京都江東区東陽二丁目二番二〇号東陽駅前ビル十一階、有吉徳洋社長）は、オフィスインテリアを中心に企画から施工までトータルに行う企業。このほど同社では、ソーシャルビジネス（社会問題の解決を目的として収益事業に取り組む事業体の事、社会的企業とも呼ぶ）の一環として神奈川県の「川崎市障害者施設しごとセンター」と業務提携し施設に働く人々をビジネスパートナーとして施設の方が制作した小物等の販売を開始した。

販売は、同社の電子商取引サイト「ソーケン侍サイト」（アドレスはhttp://www.soken-shop.jp/）で行う。

売上金の一五％は協力金として使用され、寄付金は恵まれない子供たちの施設改修に繋げるのが目的。和式便所からウォシュレットトイレの改修に使われる。

先日同社の本社がある東陽町駅前ビルに有吉社長を訪ね、今回の狙いなどを聞いてみた。

いちかわ環境フェアでの展示物を紹介する有吉社長

有吉　実は環境省登録だけでなく、ビジネスとしてやっていけないかと考えました。寄付だけでは継続できないので…。

――どんな商品を販売されているのか。

有吉　間伐材（千葉県産山武杉）を使った入浴剤とか玩具ですね。これが手作りした小物類や加工品です。

――サイトの名前に侍の文字を入れたのは私が剣道をやっていたからで特に意味はないのですが…。

実際に多くの方から問い合わせなどをいただき、社会福祉法人の皆様が手作りした小物類や加工品を販売しています。

――サイトはどうやって設けたのか。

有吉　たまたま私どものグループ会社のお客様で販売サイトを作っているところがありまして、それを利用させていただくことで、サイトを立ち上げました。

――今のペースでいけばいつ頃、寄付できそうですか。

有吉　この秋ぐらいに交換できそうです。

――他に活動されていることは。

有吉　六月二十六日（土）、千葉県市川市の「第十八回いちかわ環境フェア2010」に「エコ窓普及促進会」と「海洋大学」とコラボ出展しました。それぞれの専門分野である「住まい」「森林」「海」から環境保護への取り組みを考え、ブース企画を致しました。

それぞれのコーナーでわかりやすいプレゼンテーションを行いましたが、子供たちには、ガラスに描けるクレヨンで絵を書くコーナーが人気を集めました。

八月、九月もコラボ出展を予定しています。

今後も地域の活性化に役立てたいです。

有吉社長は「我々、中小企業は大金を寄付することはできない。しかしこのような形で、この志をたくさんの人々に伝えていくことで、それ以上の社会貢献活動になる」と笑顔で語っていた。

――電子商取引サイトを設けられたきっかけは。

有吉　地球温暖化対策地域協議会・エコ窓普及促進会（所在地＝東京都豊島区上池袋二―一四―一一マテックス㈱内、柳英夫会長）のご紹介もあり、環境省さんでもっといろいろな取り組みを行いたいという意向もあって、間伐材を使って社会貢献を川崎市の障害者施設に生産を委託しています。これらの収益の一部を寄付に使わせていただくことにしています。

さらにその寄付金をトイレや畳の交換に使用しようと考えています。

障害者の人達に作ってもらった商品はいろいろ偏見もあって売れないのが実状です。それをこういうサイトを設けることによって売れるのではないかと考えたわけです。

サイトの名前に侍の文字を入れたのは私が剣道をやっていたからで特に意味はないのですが…。

実際に多くの方から問い合わせなどをいただき、社会福祉法人の皆様が手作りした小物類や加工品を販売しています。

――サイトはどうやって設けたのか。

有吉　たまたま私どものグループ会社のお客様で販売サイトを作っているところがありまして、それを利用させていただくことで、サイトを立ち上げました。

――今のペースでいけばいつ頃、寄付できそうですか。

有吉　この秋ぐらいに交換できそうです。

――他に活動されていることは。

有吉　六月二十六日（土）、千葉県市川市の「第十八回いちかわ環境フェア2010」に「エコ窓普及促進会」と「海洋大学」とコラボ出展しました。それぞれの専門分野である「住まい」「森林」「海」から環境保護への取り組みを考え、ブース企画を致しました。

それぞれのコーナーでわかりやすいプレゼンテーションを行いましたが、子供たちには、ガラスに描けるクレヨンで絵を書くコーナーが人気を集めました。

八月、九月もコラボ出展を予定しています。

今後も地域の活性化に役立てたいです。